



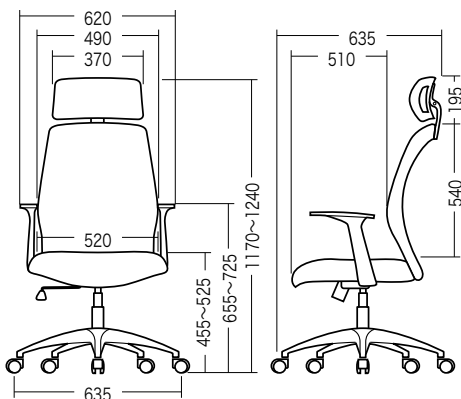
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

完成図

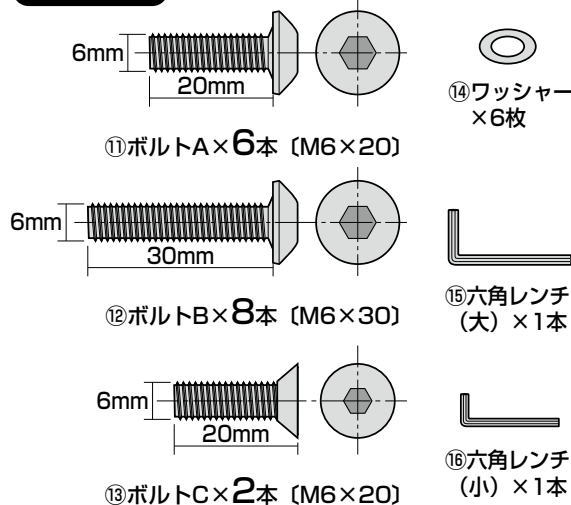


組立て部品

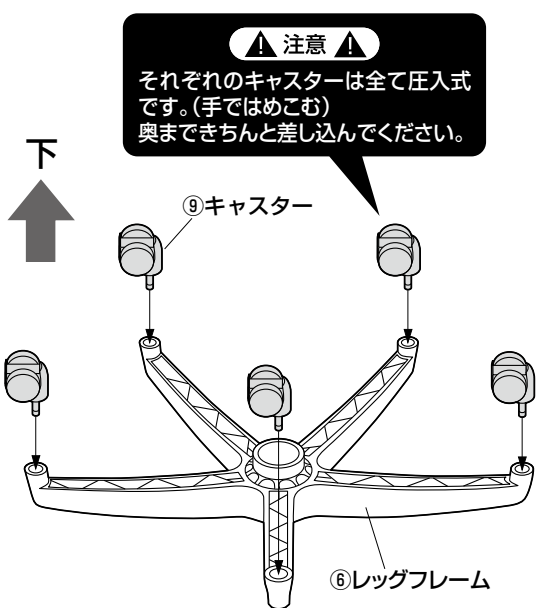
※部品の欠品や破損があった場合は、品番（150-SNCM014など）と
下記の部品番号（①～⑯）と部品名（キャスターなど）をお知らせください。



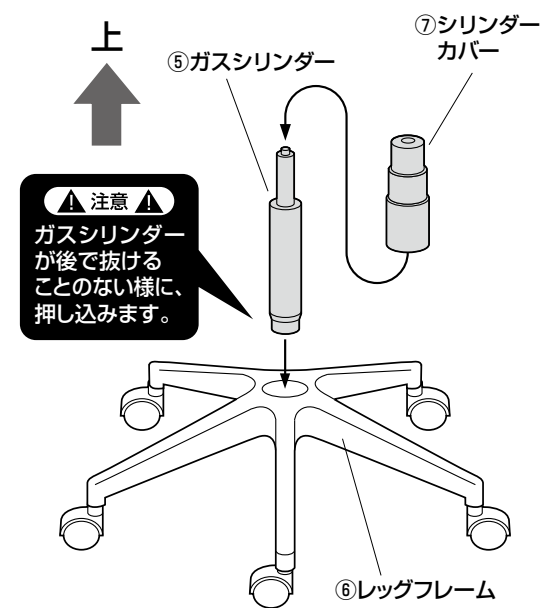
ボルトセット



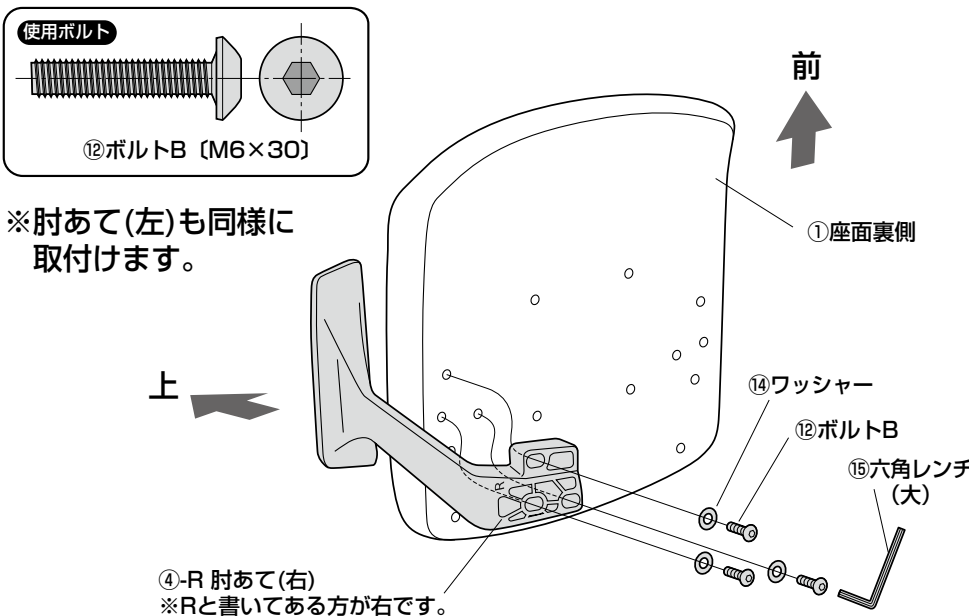
1 レッグフレームをひっくり返し、
キャスターを取付けます。



2 レッグフレームにガス
シリンダーを差し込みます。



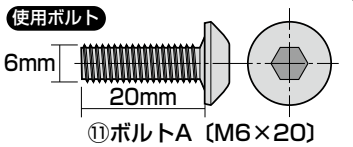
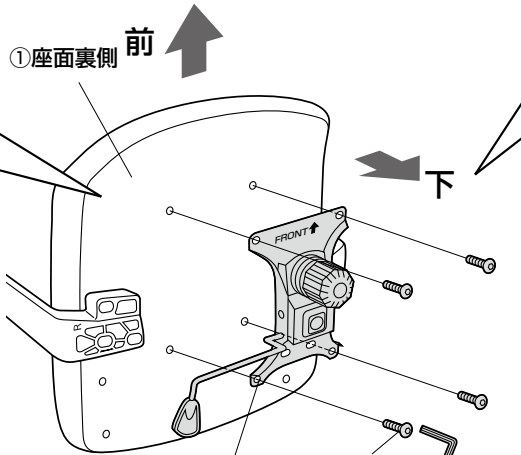
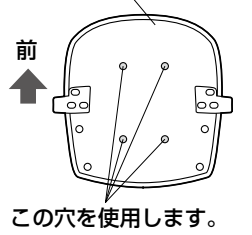
3 座面に肘あてを取付けます。



4 座面に座面ブラケットを取付けます。

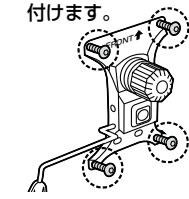
下から見た図

①座面裏側
※穴がないほうが前です

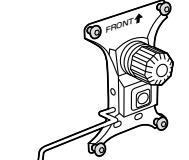


⑧座面ブラケット
※「FRONT」と書いてある方が前になります。

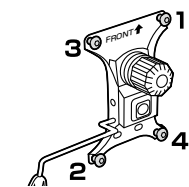
①4本のボルトをゆるく付けます。



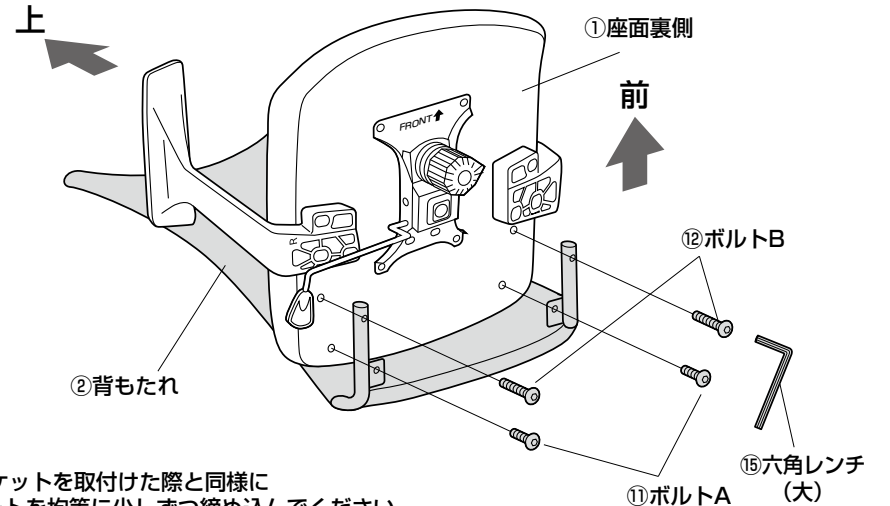
②すべてのボルトを均等に少しずつ締め込みます。



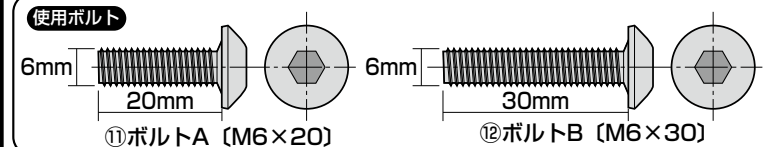
③最後に下図の1,2,3,4の順にきつく締め付けます。



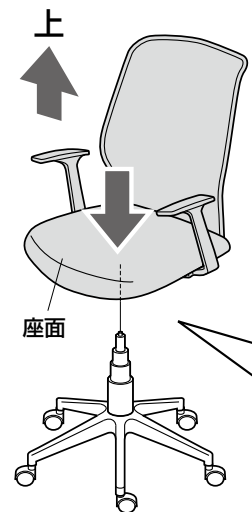
5 座面に背もたれを取付けます。



※座面ブラケットを取付けた際と同様に4本のボルトを均等に少しずつ締め込んでください。

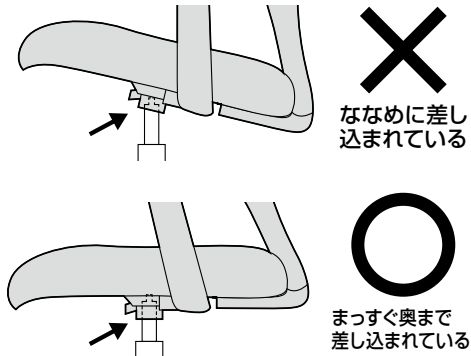


6 ガスシリンダーに座面を差し込みます。



▲注意▲

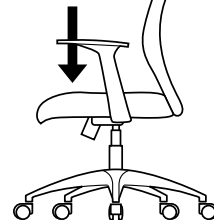
座面をガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面がななめに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

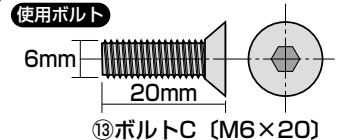
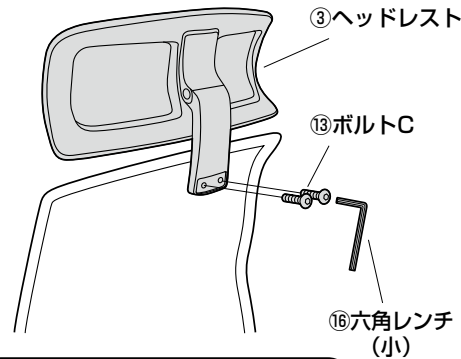
※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。

座って押し込む

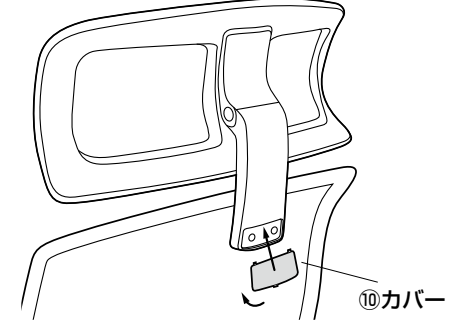


7 ヘッドレストを取付けて完成です。

①ヘッドレストを取付けます。



②カバーを取付けます。



※上側の2つの突起を差し込み、下側をはめ込みます。

各部の調節方法

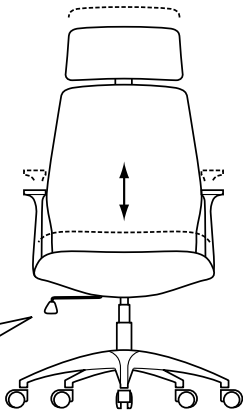


注意

レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。

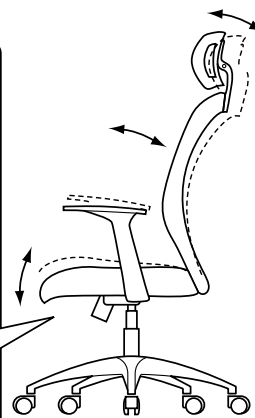
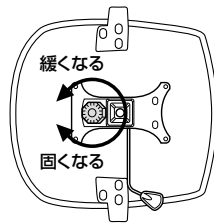
①レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。

②レバーを外側に引き出すと、ロック機構が働き、差し込むと固定されます。



下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロックが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



チェアの品質表示

外形寸法：幅635×奥行635×高さ1170~1240mm
(座面高さ455~525mm)

構造部材：座部・背もたれ部・肘部/PP

脚部・キャスター部/ナイロン

張り材：座部/布 背もたれ部/ポリエステルメッシュ

クッション材：ウレタンクッション

使用上の注意

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面や肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。